日本キリスト教団

東金教会（５）

２０２０年２月２日 降誕節第６主日礼拝

年度目標　《教会の民として生きる》

聖　句　良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。
声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司　　式	藤　　本
奏　　楽	中　　里
受　　付	三　　枝
案　　内	中　　村
名　札　係	安　　延
礼拝感謝祈祷	猪　　野
〃　〃	朴

前　　奏		中　　里
讃　美　歌	３	一　　同
信仰告白		〃
交　読　文	４	司・会衆
主の祈り	５６４	一　　同
聖書朗読		藤　　本
ガラテヤ書５：１５～２５		
祈　　祷		藤　　本
新　聖　歌	５０	一　　同
み言葉の伝え		中　　村
〈霊と肉とに導かれて〉		
讃　美　歌	５００	一　　同
聖　餐　式	配餐……	宮　　中 森　　川
	祈祷……	五　木　田 岡　　部
讃　美　歌	５３４	一　　同
献　　金		
礼拝感謝		猪　　野
〃　〃		朴
報　　告		
頌　　栄	５４１	一　　同
祝祷（派遣）		中　　村
後　　奏	新聖歌58	聖　歌　隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　２月５日（水）19：30～
早天祈祷会　月～金7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習　本日礼拝後
聖書輪読会　２月９日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　２月９日(日)10:25-10:30

【報告】

☆１月の献金報告を井上健兄のご奉仕により出来ております。週報棚または受付よりお取り下さい。

☆２月説教担当は第３週の１６日は中村牧師が担当、第４週の２３日礼拝は朴　　牧師が担当されます。尚、第３週の朴牧師は目白教会でのご奉仕です。

☆先週持たれました臨時総会において朴牧師の当教会担任教師辞任が承認されました。朴牧師は４月より志村栄光教会主任担任教師として赴任されます。当教会での教会・幼稚園にまたがる４年に渡るご奉仕の数々を感謝すると共に、新任地でのお働きを神さまが用いて下さり、より一層のご活躍をお祈り致します。

【２月２日～2月８日誕生者】

○田中　兄　○宮路　　姉　○石橋　　姉

※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計	早天祈祷会 日	男	女	計
主日礼拝(1/26	13	30	43	1/27	1	1	2
聖研祈祷会(1/29)	3	2	5	7/28	1	1	2
聖書輪読会(1/26)	2	3	5	1/29	1	1	2
教会学校(1/26)	7	19	26	1/30	1	1	2
				1/31	1	1	2

主日礼拝献金(１/２６)……３４,０００円
教会学校献金(１/２６)……７,５００円

【今日のメッセージ】

題　〈霊と肉とに導かれて〉
聖　書　ガラテヤ書５章１５節～２５節

１・霊の導きに従って

２・霊と肉との対立

３・霊と肉とにあって生き続ける

【次週(２月９日)礼拝式案内】

み言葉の伝え〈柔和な心〉
聖　　書　ガラテヤ書６章１～４節
交読文　５
讃美歌　６番　２５５番
新聖歌　５０８番

【次週(２月９日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え…	中　　村
司　式　者…	武　　田
奏　楽　者…	中　　村
受　付　者…	鈴　　木
案　内　者…	武　　田
名札当番…	藤　　田
礼拝感謝祈祷…	五　木　田
〃　〃…	阿　波　谷
ｃｓお話し…	森　　川
会堂清掃者…	岡　　部
〃　〃…	深　山　由
花　　係…	岡　　部
看板書き…	戸　　波

【聖書から】

「皆を導いて川を渡らせ、持ち物も渡してしまうと、ヤコブは独り後に残った。

創世記三二章二四～二五節

故福井二郎牧師の中国伝道を記した書に「熱河宣教の記録」という一書がある。その書において福井牧師は彼が熱河に到着したその夜、伝道のために用意した諸々の財物を、神は一夜にして火事により全て灰燼に帰してしまったと記している。そして先生は語っている。自分企て、種々の配慮の下に用意した全ての物を神は全て滅失させ、自分をただ独り神の御前に立たしめた、と。ここでのヤコブも正にそうである。彼は異国に於いて獲得した家畜、雇い人、妻子の全てを手放し、独り神の御前に立とうとしている。彼は人としては欠点の多い人であったと思う。まことに抜け目なく、自分の利益となるものを余す所なく得るために画策する人物であり、人に対する好き嫌いが激しく、おおらかな所が少なく、私などはあまり好意の持てる人物ではなかった。けれどもどういう訳か神はこの人物を評価し、彼の危急の時にはしばしばご自身を現し、彼が決して独りではないこと、また彼の行くべき道を指し示されることによって、人の計らいを超えた神のお計らいを明らかにされたのである。それは信仰の経験を彼に与え、神への信頼を彼の心に刻み付ける神の憐れみでもあった。かくて彼は故郷カナンに帰るに際し、彼を激しく憎悪していたであろう兄エソウ―かってヤコブは謀事をもって兄エソウの長子の権を奪ったのであった―にどのように対峙すべきかを神に聴くために独りヤボク川に留まったのである。聖書は深夜から夜明けまで神と組み打ちし、彼が神の人に勝ったと記している。繰り返しの祈り、願い、熱誠をもって神の言葉を引き出したのである。神は彼と必死に組み打ちしたヤコブをこれからはヤコブ(かかとを掴む者)と言わずイスラエル(神と組み打ちする者)と言え、と云われ、現在のイスラエルの祖とされた。欠点の多いあまり人好きのしないヤコブ、彼の欠けの表れは種々であってでも私達の欠けに通じる。神は品行方正の神でなく破れを持つ私達の神である。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。